



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

始まりました！

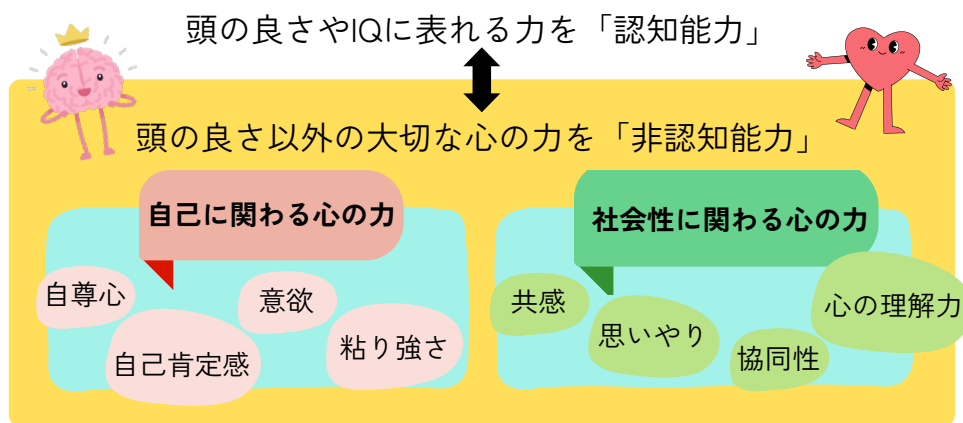


中央区の区立幼稚園では、令和7年度より東京都が推進する「すくわくプログラム」に取り組んでいます。一体どんなプログラムなのでしょう？

Q1 『すくわくプログラム』って？

子どもたちの「伸びる、育つ（すくすく）」と「好奇心、探究心（わくわく）」を育み、主体的な学びを促すことを目的とした取り組みです。近年注目されている「非認知能力」も含め、心と体の健やかな成長をサポートすることを目的としており、東京都と東京大学が共同で進めています。各園が設定するテーマに沿って、子どもたちの興味や関心に合わせた探究活動を実践していきます。

Q2 『非認知能力』って？



Q3 今『非認知能力』が注目されている理由

「非認知能力」と呼ばれる力は、子どもが豊かな人生を送るための「生きる力」として欠かせません。現代社会の大きな変化に加え、その重要性を示す研究結果が少しずつ蓄積されてきたことで、注目を集めるようになりました。この力は言葉で教えてすぐに身につくものではなく、子どもが日々の経験を通して育んでいくものです。園での生活は子ども達にとって、さまざまな物や人との関わりを経験できる最も適した場所といえます。その経験を豊かにすることが、「すくわくプログラム」の大きな狙いの一つです。



広げる好奇心、深める好奇心



「新しいことに興味を広げていく」「一つのものを選んで深めていく」そのどちらも体験できるよう工夫されているのが、すくわくプログラムの魅力です。明正幼稚園ではどのようなテーマで子どもたちが学びを深めているのでしょうか？ 実際の取り組みを取材してみました。

「やってみたい」「できた！」「なんてだろう？」「もっと」

これらを引き出せるように、明正幼稚園では 一学期は「水」、二学期は「自然」をテーマとし、子どもたちが心を動かし、夢中になれる環境を作っています。

目には見えにくい内面の変化を捉えていくことを大切に、「非認知能力」の発達を育むことに大変重きを置いています。「これをすれば絶対に身につく！」というものではないからこそ、それを捉える目を常に磨き続ける先生方の姿、そして楽しむ子どもたちの様子を追いました。

一学期のテーマ 水

一学期は、子どもたちが大好きな「水」をテーマに、発達に応じた深い学びを引き出しました。もっと楽しく夢中になって遊びながら「非認知能力」を育む探究活動となるよう環境を工夫したそうです。各学年の実際の様子を観てみましょう！



色水遊び



赤・青・黄の単色から遊び、色が混ざる不思議さや面白さを感じる。泡作りや草花などの他の遊びとも合わせて見立て遊びの楽しさを感じる。

寒天遊び



寒天の切り心地や感触の面白さに気づき、繰り返し遊ぶことを楽しむ。



色水遊び



泡づくりや氷遊び等の様々な水遊びを通して、自分なりに考え試し、水の変化に気付く。

砂場泥遊び



砂と土、それぞれに水を入れた時の染み込み方や混ざった時の感触の違いに気付く。



色水遊び



年少・年中で経験した事を活かし、試験管や注射器を用いて混色。また、凍らせて性質の変化を観察。

寒天遊び



寒天粉を使い、自分たちで火を使って寒天を作り、性質の変化を知る。

二学期のテーマ 自然

二学期のテーマは「自然」です。

これは、子どもたちの虫や植物への高い関心をさらに伸ばしたいという思い、そして都心で不足しがちな自然体験を豊かにしたいという願いから選ばれました。

また、先生自身「自然」についてもっと知りたいと思っており「なんでだろう?」「もっと知りたい」という気持ちを子どもたちと共有することで、より近い目線でさらに楽しくできると考えています。

一学期で培った経験を基に、子どもたちがより主体的に「探究する力」「学ぶ力」を育めるよう、今学期の活動もサポートしてくださっています。



NOTICE プログラムを通しての子どもたちの変化について先生方に聞いてみました♪

- ▶ 自分の気づきを友だちや先生に伝えたい!と言葉にする姿が増えました。
- ▶ 自分の発見や考えを認めてもらう嬉しさや、友だちの発見を認め合える気持ちも育まれています。
- ▶ 積極的に行動し、様々な視点やアイデアで物事を捉えようとする力が養われています。

「この道具はそんな使い方があったのか!」
「そんな細かいところまでよく見ていてよく気付いたね!」

といった先生方の想像をゆうに超えていく子どもたちの発想の豊かさ、柔軟さに常々素晴らしいと感じているそうです。

CHECK

全学年、上記の遊びを通して**繰り返し・試し・遊び・楽しむ**ことをねらいとして、活動が行われていました。

今後も子どもの思いを受け止め、探究する姿を支えていこうとする先生方の姿が見られました。

子どもたちの経験した事を、ドキュメンテーションにしてそれぞれのクラスの前廊下に掲示する予定です。
三年間の発達の流れや気づきの違いなど、是非比較してみてください。



ご家庭でも、子どもの気づきに寄り添い、

『何に興味を持っているのか?』

『何を楽しんでいるのか?』

想いを寄せながら一緒に調べたり、
遊んだり、時に見守ったりしていただけると
家庭と園の両輪で、子どもたちの

探究心・学びの目

を育んでいけると考えています。

詳しくは『すくわくポータル』をご参照ください

